

記入例

鉛筆や消すことができるボールペンでは記入しないでください。
 修正テープや修正液は使用不可です！訂正は二重線でお願いします。※訂正印不要
 申請書作成にあたっては、枠内に納まるよう記載してください！

記入例 【個人事業主用】

令和3年 × 月 × 日

松山市中小企業 ▶ **チェック「✓」** の給付を受けたいため、関係書類を添えて申請します。
 なお、申請書に「**チェック「✓」**」を記入します。※全てにチェックがない場合、受付できませんのでご注意ください。

- 応援金を感染対策や事業活動等の充実に活用し、将来に向かって効果が持続する形で取り組みます。
- 応援金の給付を受けた後も事業を継続する意思があります。
- 「松山市新型コロナウイルス対策営業時間短縮等協力金」(第6弾又は第7弾)の対象者ではありません。
- 「緊急事態措置又はまん延防止等重点措置の影響緩和に係る月次支援金」(令和3年6~9月分)を申請及び受給していません。

事業所の所在地	〒 ×××-××××	
	松山市○町○丁目○-○	
屋号・商号名	フリガナ	×××××ヨリテン
	名称	○○商店
氏名	フリガナ	サケン タロウ
	氏名	応援 太郎
申請者の情報	事業開始年月日	平成○年 ○月 ○日
	申請者 個人事業主の自宅住所 (住民票の住所)	〒 ○○○-○○○○ 松山市 ×町××-×
主たる業種 (いずれかにチェック)	生年月日	○.○.○H ××年 ×月 ×日
	<input type="checkbox"/> 製造業[①] ▶ 連絡不可の場合はチェック「✓」 <input type="checkbox"/> その他の業種(②~④を除く)[①] <input type="checkbox"/> 卸売業[②] <input type="checkbox"/> 会社以外の法人[⑤]	
連絡先(電話番号)	×××-××××-×××× <input type="checkbox"/> ※土日、祝日が連絡不可の場合はチェック	
給付申請額	¥ 150,000 円	
①~③いずれかに チェック「✓」 ④, ⑤については 売上等の記入 チェック	<input type="checkbox"/> ①令和3年6~9月のいずれかの月の事業収入が、令和元年又は令和2年同月の事業収入と比較して、 <u>30%以上減少</u> している。 ②令和3年6~9月のうち任意の連続2か月の月間事業収入が、令和元年又は令和2年同月の月間事業収入と比較して、各月が連続して15%以上減少している。	
	① 月間売上 × 月 × 円 令和 × 年 A 300,000 円	② 月間売上 × 月 × 円 令和 × 年 A 300,000 円 400,000 円
	① 月間売上 × 月 × 円 令和 3 年 B 200,000 円	② 月間売上 × 月 × 円 令和 3 年 B 250,000 円 300,000 円
	減少率 (A-B)/A×100 33.3 %	減少率 (A-B)/A×100 16.6 25 %
<input type="checkbox"/> ③令和元年6月2日~令和3年8月31日の間に創業又は新規開業した。 ※別紙1又は別紙2の提出が必要。(上記の減少率に関する記載は不要)		
比較対象期間の 事業収入の下限確認	<input type="checkbox"/> 比較対象期間を含む年間売上(税込)が、法人240万円以上、個人事業主120万円以上であること (創業・新規開業特例を除く。)	
口座名義人 ※カタカナで記載	松山銀行	支店名
	1 2 3 4	支店コード (3桁)
	5 6 7	応援金支店
口座種別	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座	口座番号 (7桁)
0 1 2 3 4 5 6		

※必ず申請者名義の口座
 屋号が入っている場合は、
 全て記入

2. 対象期間の事業収入が確認できる書類 (3. 比較対象期間の事業収入が確認できる書類
 内に発行されたもの) 5. 本人確認書類の写し(運転免許証等)
 (表紙及び表紙を開いた見開きページ全体)

※この申請書は、松山市において給付決定をした後は、応援金の請求書として取り扱います。